



2025年12月24日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村米浩
(コード番号: 4586 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理部長 藤岡健
(TEL. 03-3664-9665)

MRX-4TZT 臨床第2相試験開始のお知らせ

当社グループが開発中の痙性麻痺治療薬MRX-4TZT(チザニジン^{*1}テープ剤)について、当社の100%子会社であるMedRx Australia Pty Ltdが、豪州にて臨床第2相試験を開始したことをお知らせします。今回の臨床第2相試験では、多発性硬化症による痙縮患者を対象に高用量域におけるMRX-4TZTの安全性・忍容性および有効性をチザニジン経口剤と比較することにより、MRX-4TZTのProof of Concept「薬効を維持したまま、経口薬と比較して安全性・忍容性が向上することにより、患者負担が軽減される」を確立することを目的としており、2026年第4四半期に結果速報を得ることを見込んでいます。試験デザイン詳細については、以下の当社ウェブサイトをご参照下さい。

<https://www.medrx.co.jp/business/iltspipeline/mrx-4tz/index.html>

MRX-4TZTは、イオン液体^{*2}を利用した当社の独自技術ILTS[®](Ionic Liquid Transdermal System)を用いて中枢性筋弛緩薬であるチザニジンのテープ型貼付剤を製剤開発したものです。米国における筋弛緩薬市場は、2024年において約2,300億円(1,546 million USドル)と推計されています(出所: IQVIA)。現在、筋弛緩薬の経皮製剤が存在しない中、経皮製剤化することにより経口剤と比較して、有効血中濃度の持続性、眠気や口渴等の副作用の低減等の利点が期待されます。

本件は当社グループの2025年12月期業績予想に織り込み済みです。

以 上

《ご参考》

*1 チザニジン

チザニジンとは、中枢性筋弛緩剤(脳や脊髄にある中枢神経に作用して筋肉の緊張を緩和する薬)の一種で、脳卒中、脊椎損傷や多発性硬化症に伴う痙性麻痺等の筋肉がこわばる症状の治療、及び、痛みを伴う肩こりや腰痛、五十肩、緊張性頭痛等の治療に使用されています。

*2 イオン液体

イオン液体とは、融点が100°C以下の塩(えん)のこと、常温溶融塩とも呼ばれています。低融点、高イオン伝導性、高極性、不揮発性、不燃性等の特徴を有しており、太陽電池や環境に優しい反応溶媒等、

多方面における応用が検討されています。当社では、薬物をイオン液体化する、あるいは、イオン液体に薬物を溶解することにより、当該薬物の経皮浸透性を飛躍的に向上させることができるなどを世界に先駆けて見出しました。現在までに、①人体への使用実績がある化合物の組み合わせによる安全性が高いと考えられるイオン液体ライブラリー、②対象薬物の経皮浸透性向上に適したイオン液体の選択に関するノウハウ、③薬物を含有するイオン液体をその特性を保持したまま使い勝手のよい形（貼り薬、塗り薬等）に製剤化するノウハウ等を蓄積しています。これらのノウハウ等も含めた独自の経皮吸収型製剤作製技術を総称して、ILTS[®] (Ionic Liquid Transdermal System) と呼んでいます。